

工事情報



仮設備ヤード 完成間近！ コンクリート打設機械「タワークレーン」の基礎工事も始まる！



左：バッチャープラント（コンクリートを練る施設）
右：骨材ピン（コンクリートの材料を貯蔵する施設）

和食ダム本体工事では右岸側の法面保護工事を完了させ、左岸側の法面保護工事を進めています。仮設備ヤードにおいては、ヤード造成工事に加え、コンクリートの製造に必要なバッチャープラント、骨材プラント等の設置が進められています。また、コンクリート打設機械「タワークレーン」の基礎工事も始まりました。

ところで、「法面保護工事」ってどのような工事か知っていますか？法面保護工事とは、山地を削ってできた斜面を雨風などで崩れないように保護する工事のことです。法面保護工事に

は数多くの種類がありますが、大事なことは山を削った後の斜面の状況です。堅固で安定したものもあれば、亀裂や風化が進んだ不安定なものもあります。これら斜面の状態にあわせて、法面保護の工法を決めていきます。

和食ダムでも斜面状況をその都度確認しながら、法面保護工事を進めています。もうすぐ始まるダム本体のコンクリート打設に向け、工事関係者・地域の方々と一緒に工事を進らせていきます！

特集！
調査横坑に潜入！！



ダムサイト左右岸には「調査横坑」と呼ばれる周辺の地質を調べるために掘った長さ50m程度の穴があります。今回特別に左岸側の調査横坑に入ってみました。穴の中は真っ暗で、昼間でも懐中電灯が必要なほどです。奥に進んでいくと、いきなり「ギャ〜！」という職員の悲鳴が！なんとコウモリが飛んでいました！ビクビクしながらではありましたが、和食ダムの地質構造を間近で観ることができました！



農業体験にチャレンジ

和食ダム本体工事JV職員、地域の方々と一緒に農作業のお手伝い



8月23日、和食ダム本体工事JVの職員が、地元農家のビニールハウスにてナスの苗植え体験を行いました。「慣れない作業で苦戦した（泣）」と、農作業の大変さを身にしみ感じていた様子のJV職員。しかし、ハウスの所有者からは「ぜひ来年も手伝ってほしい！」と太鼓判を押されたようでした。「みなさんに喜んでいただけたのが本当にうれしい！やってよかった！」と、達成感を感じていたJV職員でした。

「あれから1カ月、ナスはどれほど成長したのかな？」そんな思いを胸に、再度ビニールハウスへ訪問！ツヤツヤ感があり、丸々と成長したナスの姿がそこにはありました！このナスのように、地域と一緒に和食ダムを造り上げていきたい！そんな思いを持ってこれからも取り組んでいきたいと思えます！



和食ダムをもっと知ってほしい！

現場見学会情報



仮設備ヤード見学



本体工事JV事務所における座学



ダムサイト見学



8月1日に四国地方整備局中筋川総合開発工事事務所、8月26日にダム工学会、8月30日に大阪府茨木市の桑原自治会の方々が訪れ、和食ダムの工事状況を見学しました。

見学会では、和食ダム本体工事JV事務所において座学が行われ、県の担当者が和食ダム建設事業に至った経緯や事業の概要等を説明し、本体工事JVの職員が工事の概要や具体的な施工方法等について説明を行いました。

現場見学では、骨材プラントやバッチャープラントを設置している仮設備ヤードにおいて、コンクリートの練混ぜ方法や打設方法について説明を行いました。また、ダムサイトでは、本体掘削工事や法面保護工事の状況説明を行い、実際に岩盤検査用ハンマーを使用して、掘削法面の岩盤状態を身近に感じていただけるような体験も行いました。

見学者からは「コンクリートの配合について教えてほしい」「ゲリラ豪雨や台風による手戻り等はありませんか？」「(岩盤検査用ハンマーを使用しながら)この掘削面の岩級はどの程度ですか？」など多数の質問が寄せられ、ダム建設に関わる知識を深めることができました。

和食ダム建設事務所では今後もこのような活動を続け、和食ダムについて広く知っていただけるよう努めていきます。



JV職員からの説明



岩盤状況確認



熱心な見学者

※川の流れる方向 →



語録の石碑を知っていますか？

貯水池内に沈む石碑を付替村道へ移設



貯水池内に沈む石碑



芸西村にある社団法人「考える村」には、長さ4kmにわたる遊歩道があるのを知っていますか？遊歩道の途中には、川や滝などがあり、野鳥や野草を観察しながら自然を感じることができる芸西村の観光スポットの一つです。また、ここには板垣退助や坂本龍馬など、土佐が生んだ偉大なる先人の語録の石碑が設置されています。

実は、この石碑が和食ダムの貯水池となる範囲にも設置されています。詳しく見てみると「小野 梓」「田中 光顕」「安芸 盛」「野村 茂久馬」「大野 武夫」の計5名の語録が残されていました。

このことについて、先日、考える村の担当者と現地を一緒に歩きながら協議を行い、ダム完成後に貯水池内に沈んでしまう石碑については、現在建設している付替道路の余幅部に移設することになりました。

ぜひ和食ダムとともに語録の石碑もチェックしてみてくださいいかがでしょうか？

どうやって地域活性化？

和食ダムの建設をきっかけに芸西村を盛り上げたい



地域活性化に向けた今後の方針を検討



「和食ダムをきっかけに地域活性化を図りたい！」そんな思いから始まった「地域と共に芸西村の明日を考える会」。より多くの方々に関わって欲しいと願い、芸西村で活動している方々を探して走り回っています。そこでは「こんなことしたら芸西村に来てくれそう！」「芸西村にはこんなものもあるで！」など、私たちの知らない芸西村を教えてください！

具体的な今後の進め方についても協議を行い、「ワークショップを開いて、芸西村の強みや弱みを出しあってみよう！」ということになりました。ワークショップには芸西村に関わっている方のみならず、大学生や外部機関の方々にも参加してもらう予定です。